

読者コーナー「ホッとtime」

「読者コーナー・ホッとtime」は、皆さんが大事にしている「座右の銘」(常に自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉)や、是非とも他の方にも紹介したい“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから応募していただくコーナーです。

私の座右の銘

※「見不幸に思えたことが幸運につながったり、その逆だつたりするたこえ

「人間万事塞翁が馬」※

私は、これまでに三回の脳梗塞を患いました。三十歳、三十九歳、四十歳の時です。三代半ばには、祖父が脳疾患で要介護となり、続けて母がくも膜下出血で倒れ、私が二人を同時に介護する体験をしました。この時に自分の脳梗塞の体験が役に立ちました。自分が介護される側を先に経験していたからです。

私は二十五年間、航空管制官をしていたのですが、一回目と二回目の脳梗塞の時は、リハビリで航空身体検査の合格レベルに回復できませんでした。しかし、三回目の時は、色々な後遺症が残りました。そんな私の病室に、病院内の様々な職種の皆さんが「空の世界のチーム作り」の質問に来てくださいました。私が、航空管制官の訓練教官や教育プログラムの開発をしていたので、チーム医療の参考にしたと考えることでした。

病と共存する身となった私でしたが、まだ何かのお役に立てるのであればと考え、空のチームマネジメント』をお伝えする会社を起業することを決意し、国土交通省を早期退職しました。

会社のロゴマークには、入院中の病室で見たシブヤフォントを使用しました。そのご縁で、ぱれっとの皆さんとの交流もはじまり、今に至っています。

三回目の脳梗塞直後は、こんな未来が待っているとは想像もつきませんでした。いまが、人生で一番幸せです。人生何が吉となるかわからないものですよね。いただいたご縁を大切に、毎月の定期入院とも笑顔で共存しながら、人生をワクワクしながら前に進んでみたいと思います。

(株式会社トラストウオーク・ぱれっと理事 蔭山幸司)

◆おすすめの場所◆

おすすめは「SusHi Tech Square」です。読み方は「スシテックスクエア」ですがお寿司屋さんではありません。Sustainable High City Tech の略称です。「サステナブル」と「ハイテク」、この二つを合わせるとSushi。サステナブルな未来をハイテクで実現するという意味が込められているそうです。2023年8月に有楽町に開設された東京都の施設で、デジタルを切り口に東京の「未来」「スポーツ」「生きもの」の展示を観賞・体感出来る展示やテーマに合わせたワークショップ等のイベントを開催しています。現在は「TOKYO2020 レガシー展」にてオリンピックで実際に使用したトーチや表彰台、開会式・閉会式に着用した衣装などの展示やVRフェンシング、サイバーポッチャの体験、「デジタルでみる東京自然いきもの展」では多摩川の360度水中映像等、「エモーション・クロッシング展」では、考えて楽しめる体験型展示など。有楽町の駅前にあり無料でwi-fiや電源が使える飲食物の持ち込みが自由なのは魅力的です。(おかし屋ぱれっとと山元絵里)

- 「読者コーナー・ホッとtime」では、“私の座右の銘”や“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから募集しています。なぜその言葉を選んだのか、どんなところをおススメしたいのか、200文字程度で書いてどしどし応募して下さいね。
- 応募は、FAX(03-3409-3790)または palette@npo-palette.or.jp まで。(編集部)